

国立大学法人岩手大学学長選考経過

岩手大学学長選考会議は、現学長の任期満了（令和8年3月31日まで）に伴う次期学長候補者の選考を行った結果、山本 欣郎 氏を最終学長候補者に決定。

1. 学長選考・監察会議の審議経緯

学長選考監察会議は、これまでに計6回開催され、学長選考計画の策定から、最終学長候補者の選考まで、慎重に審議して参りました。その主な審議内容は次のとおり。

①学長選考計画の公示（令和7年6月2日）

②学長候補者の推薦受付（令和7年6月2日～令和7年7月30日）

※推薦資格者：（ⅰ）学長選考・監察会議委員

（ⅱ）学長候補者の推薦ができる者（国立大学法人岩手大学学長選考細則第3条第2項）10名の連署をもって1名の推薦

③学長候補者の決定（令和7年9月12日）

学長候補者を決定

喜多 一美 (きた かずみ)	理事（総務・戦略企画担当）・副学長
山本 欣郎 (やまもと よしお)	理事（教育・学生担当）・副学長

④学長候補者の所信を聴く会の開催（令和7年10月29日）

⑤意向聴取（令和7年11月17日～令和7年11月19日）

⑥学長候補者との面談（令和7年11月21日）

⑦最終学長候補者の決定（令和7年11月21日）

山本 欣郎氏を最終学長候補者に決定。

2. 選考理由

「国立大学法人岩手大学学長選考基準」で求める学長について、学長候補者推薦書、履歴及び所信表明書、学長候補者の所信を聴く会での所信陳述及び質疑応答、学長選考・監察会議による面談等により総合的に判断を行った結果、山本 欣郎氏は、教育・研究の推進に対する意欲と熱意、社会貢献や地域連携に対する理解、急速な社会環境の変化を捉え大学改革に取り組む意欲、財務基盤の安定化等の観点から、教育研究・経営の最高責任者として、地域の中核的総合大学としての岩手大学を運営するための優れたビジョンとリーダーシップを備えた者であり、選考基準に掲げる資質及び能力を十分に有した本学の学長に相応しい人物として決定した。

3. 今後の予定及び学長の任期

学長は、本学の申出に基づき文部科学大臣が任命する。（国立大学法人法第12条）

任期は、令和8年4月1日から令和14年3月31日まで。

以上